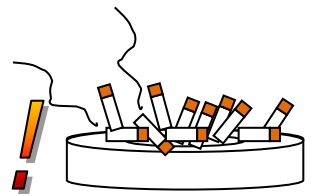


たばこに起因する火災多発中！



たばこは、火種が布団や衣類、床のカーペット等に落下すると、環境によっては長時間に渡ってくすぶり続け、時間をかけてジリジリと焼け込んでいく特徴があり、発見が遅れてしまうことがあります。このため、気付いた時には、煙に巻かれ、一酸化炭素中毒により命を落とす危険性が十分にあります！！

大量のたばこの吸殻と灰皿の缶



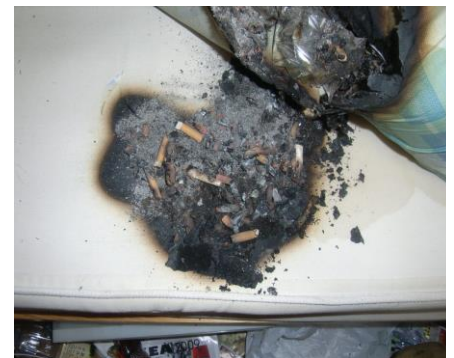
●たばこ火災を防ぐために

- ① 吸殻は灰皿などの吸殻専用のものを使って始末してください。
- ② 灰皿などの回りには燃えやすいものを置かないようしてください。
- ③ 灰皿などの吸殻は大量に溜めることなく、こまめに処分しながら使ってください。
- ④ 灰皿などから吸殻を処分するときは、必ず水を通してから処分してください。
- ⑤ 出かける時は、今一度吸殻の確認をしてください。水をかけておけば安心です。

たばこによる火災の状況



割れた灰皿の復元状況



ベッドマットまで
焼け込んでいる状況

たばこを吸殻でいっぱいになった灰皿でもみ消したつもりが、実は完全に消えていなかった場合に、他の吸殻に着火することがあります。上の写真は、溜まっていた吸殻がガラス製の灰皿内で燃え出し、熱せられたガラスが膨張したため、灰皿が割れて火のついた吸殻が布団に飛び散って火災になった事例です。



東京消防庁 葛西消防署